

海にかかわる研究に挑戦したい中高生求む!

マリンチャレンジプログラム2022

募集テーマ

海洋・水環境に関わる生物・ものづくり・水産などあらゆる分野の研究

本プログラムでは、海洋・水環境にかかわるあらゆる研究に挑戦する中高生研究者を対象に、研究費助成や研究サポートを行います。科学研究や海のおもしろさを知りたい、誰も答えを知らない新しいことに自分で挑戦する力を磨きたい仲間を募集しています!

助成内容

研究費5万円

各地区大会までの研究コーチ
大会参加旅費支援(規定あり)

プログラムの流れ

申請	2021年12月6日(月)~2022年2月9日(水)
選考	一次選考 2022年2月10日(木)~2月22日(火) 二次選考 2022年3月7日(月)~3月29日(火)
採択決定	2022年4月7日(木)頃
授与式	2022年4月 4月17日(日) 関東、関西 4月24日(日) 北海道・東北、中国・四国、九州・沖縄
研究サポート	2022年4月~8月
地区大会	2022年7月下旬~8月下旬
選抜チーム 研究サポート	2022年8月 ~2023年3月

全国大会:2023年3月

2021年度全国大会 見学者募集!(要事前申込)

各ブロックの優秀賞受賞チームによる全国大会を2022年3月に開催!

【日時】2022年3月13日(日)10:00~18:00

【場所】東京都内(当日の様子はオンライン配信します)

【内容】参加チームの研究発表、研究交流会

ブロック	研究テーマ	研究代表者	学校名
北海道・東北	八幡川河口干潟の生物調査	菅原 慎之介	宮城県志津川高等学校
関東	藻類から作る安全なクレヨン	武藤 倫太郎	東京学芸大学附属竹早中学校
	ムチンの増加・抽出の研究 ~ミスクラゲからの贈り物~	橋本 沙和	桐光学園中学校・高等学校
	ボラはなぜ跳ねるのか ~平潟湾における溶存酸素量との関係~	館 慧	関東学院六浦高等学校
	都市の湧水枯渇 ~おとめ山公園における湧出量減少の要因~	青山 空弥	海城高校
	水中蛇型ロボットに脚をついたら蛇足か? ~テトラポッドフィスの真実を求めて~	佐藤 諒弥	東京工業大学附属 科学技術高等学校
関西	光環境でメダカの繁殖効率を上げる	大河内 悠馬	西大和学園高等学校
	プランナリアの活動量と環境変化の関係について	野村 福実	四天王寺高等学校
	魚がプラスチックを誤飲してしまう原因を調査しよう!	木下 結生	大谷高等学校
	ポリグルタミン酸を用いた 汚水問題解決のシステム研究と開発	帖佐 遥夢	追手門学院大手前高等学校
中国・四国	魚類の索餌行動における 匂いの嗜好性と視覚による認識の研究	橘 皆希	姫路市立飾磨高等学校
	宍道湖に生息するシジミに対する マイクロプラスチックの影響調査	野田 美空	松江工業高等専門学校
	アマモによる物質循環および 干潟生物多様性の保全に関する研究	入澤 佳苗	岡山学芸館高等学校
九州・沖縄	放射相称であるウニ類の体の方向性とその要因	満永 爽太	熊本県立済々黈高等学校
	ハドクを用いたアマモ実生苗確立の基礎的研究 ~熊本豪雨災害からの復興~	出水 怜哉	熊本県立芦北高等学校

募集要項

【募集対象】中学生、高校生、高等専門学校生(3年生以下)
※異なる学校や学年による組成も可

【採択件数】①北海道・東北 ②関東 ③関西 ④中国・四国
⑤九州・沖縄の5ブロックで計40チーム

【募集締切】2022年2月9日(水)17:00

詳細・申請方法

マリンチャレンジプログラムHPにアクセス

<https://marine.s-castle.com/>

注目

離れた地域の学校と海の研究に挑戦する共同研究プロジェクトについても参加を募集しています!

〈主催〉日本財団、株式会社リバネス、一般社団法人日本先端科学技術教育人材研究開発機構



このプログラムは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環として実施しています。

お問合せ

株式会社リバネス マリンチャレンジプログラム事務局 担当:小玉・滝野

TEL:03-5227-4198

E-mail:marinechallenge@lnest.jp